

熱ニ比スレバ遙カニ正シクノ放線狀即菊花様ヲ呈シ此寄生小體ハ七十二時間ニ
 ノ其發育ヲ了スゴルギー氏ノ說ニ憑レバ毎日熱 *Febria quotidiana* ハ四日熱寄生小體
 ノ三生殖ノ發育ニ因ル者ニ寄生小體ハ順次毎日成育スルニ因ル者ナリト而
 ノ若シ同時間ニ發育スル者數多存在スルハ稽留熱若クハ弛張熱ヲ呈ス是レ伊太
 利ニ於テ夏期及秋期ニ多ク略ル所ナリト云フ然レモ或ル毎日熱ニハ特別ノふら
 すもぢうむ有リト論ズル者有リ殊ニ熱帶地方ニ於テ然リトス

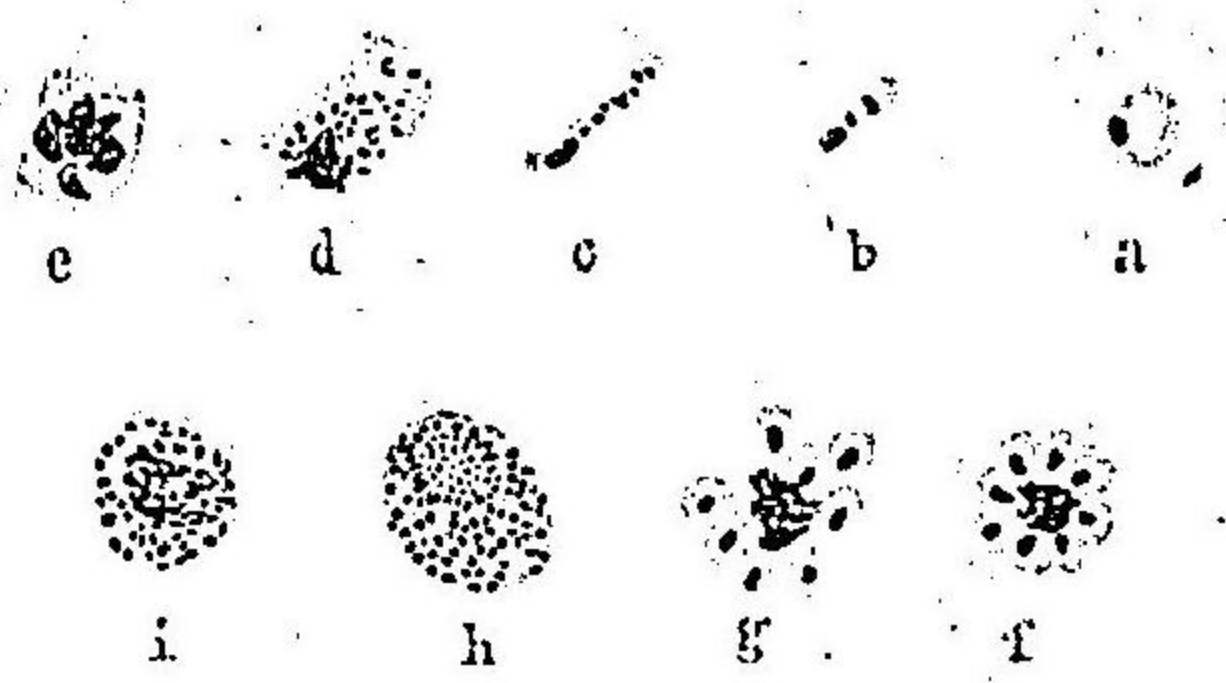
第二十七三圖(2)乃至(3)ハ染色セル標本ニ於テ四日熱寄生小體ノ發育狀態ヲ
 示ス者ナリ

(三)熱帶熱。不定期及不正間歇熱。寄生小體。Die Parasiten des Tropenfiebers(der acyklischen und

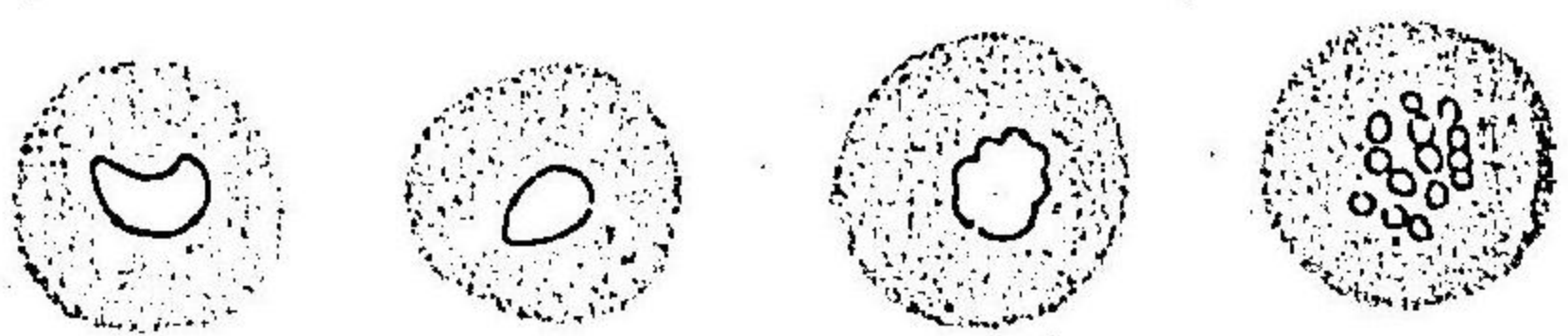
nurgeschwängerten Fieberformen) 不定期性間歇熱ニ於ケル寄生小體(第二十七四圖)ニ就テハ羅

馬ニ於テ殊ニチェルリー及マルチアファウアノ兩氏大ニ研究スル所アリシガ本症ニ
 於テハ熱發作ノ前及免熱時ノ終リニ小ナル輪狀ノふらすもぢうむヲ現出シ其中
 心ニハへもぐろびん塊或ハ色素顆粒ヲ含有シ又あめーば様ノ周縁不正ナル運
 動性機生體及圓形ニ中央又ハ周邊ニ色素斑ヲ有スル稍大ナル圓形不動ノ殆
 フ白色ノ寄生體ヲ見ル可シチェルリー及マルチアファウア氏ノ說ニ憑レバ三日熱及
 四日熱ノ寄生體ニ反シ羅馬ニ於ケル秋冬熱ノふらすもぢうむ色素ヲ有スル

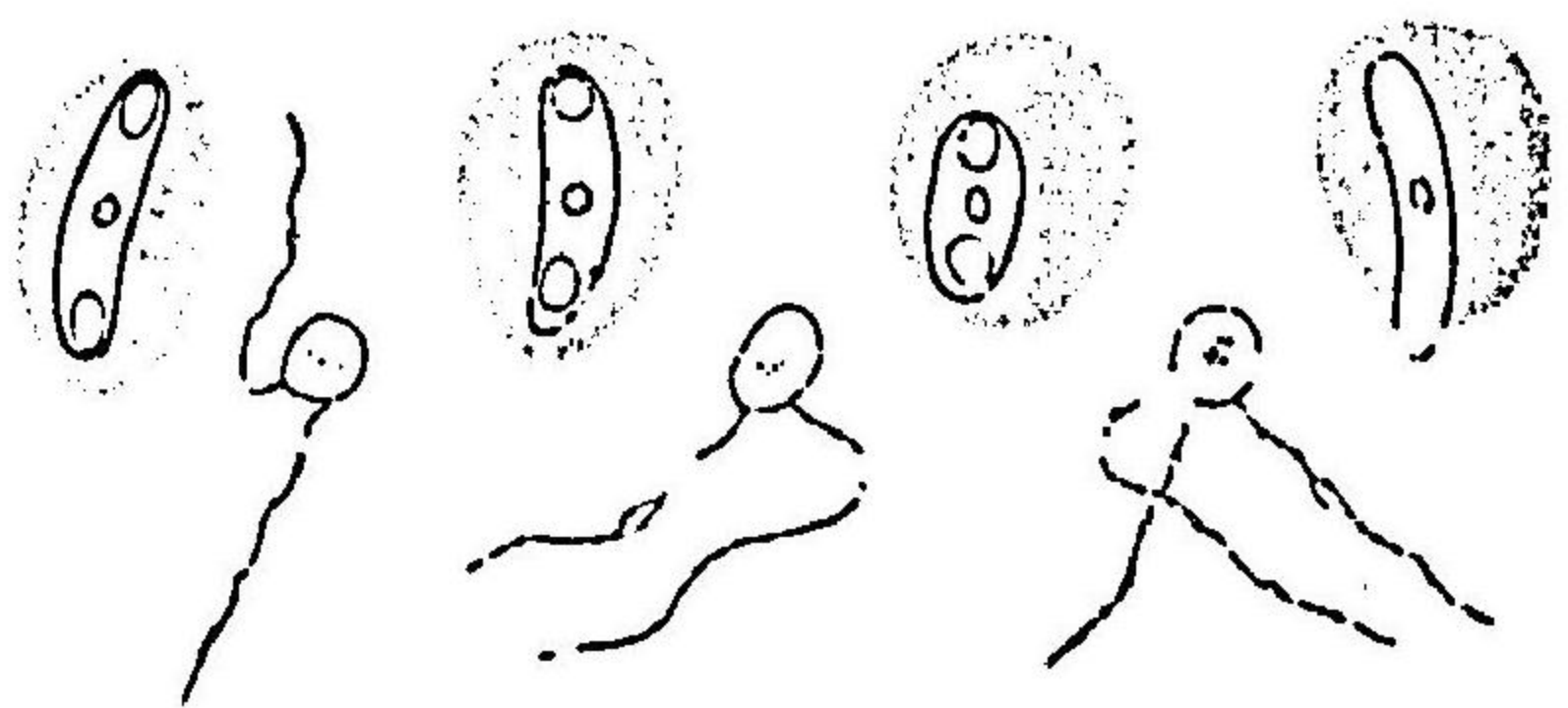
第二十七三圖
 四日熱寄生小體ノ發育狀態



第二十七四圖
 不定期間歇熱寄生小體



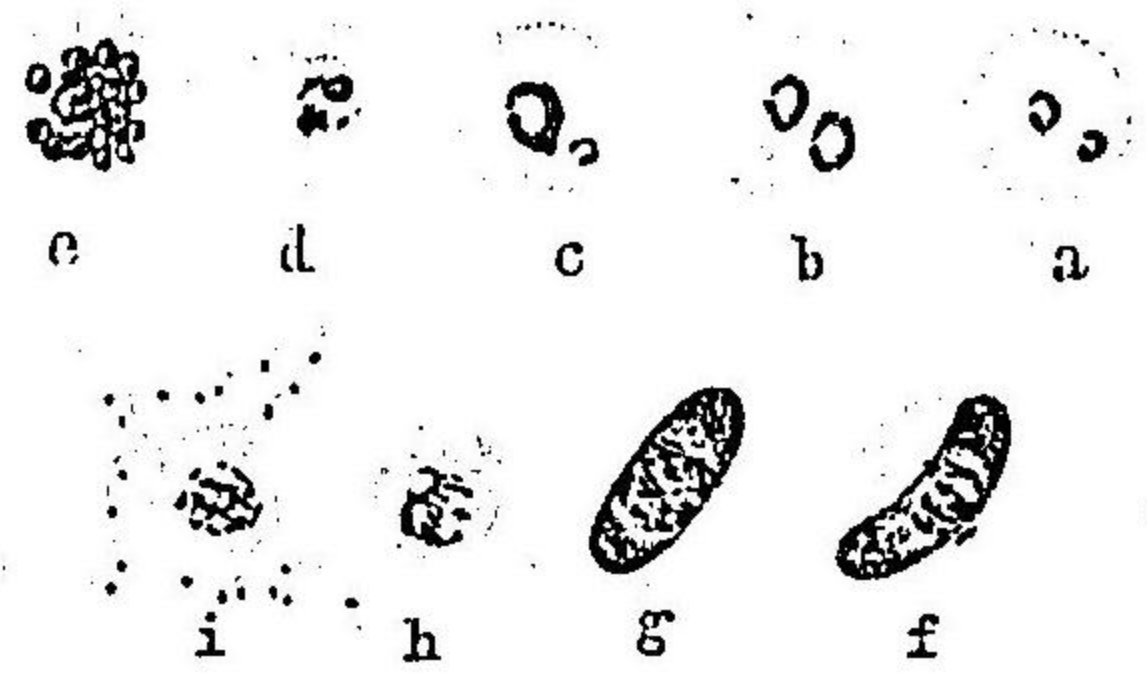
第二十七五圖
 半月狀及鐘狀毛體
 備ル遊離寄生小體



無ク且長ク運動ヲ保ツト云フ而シテ此種ノ間歇熱ニハ亦最初ラウエラン氏ノ
 記述セル半月狀及鐘狀ノ小體ヲ見ルヲ稀ナラズチェルリー及マルチアファウア氏ハ
 之ヲ半月狀又ハ鐘狀ノ者舟狀又ハ紡錘狀ノ者及卵圓形又ハ圓形ニノ鞭毛ヲ備
 フル者トニ區別セリ(第二十七五圖)グラッシー及フレッチーノ兩氏ハ定期性ノ熱發作
 ノ際ニ來ル麻拉利亞ふらすもぢうむヲへもあめーばまらり *Haemaphysalis marginata*

血液ノ顯微鏡的検査

第 二 百 七 十 六 圖
熱帶寄生小體ノ發育狀態



ト名ケ鎌状ノ者ヲらうらにあまらり。Lacortia mal-
tinaト名ケタリ兩氏ノ説ニ據レバ此種ノぶらすもぢ
うむハ主トノ麻拉利亞再發症及麻拉利亞惡液質ニ
來ル者ナラムト又コルギー氏ノ説ニ憑レバらうら
にあハ亦甚々長ク且不整ノ間歇時ヲ以テ反覆襲來ス
ル所ノ麻拉利亞ニ來ル者ナラムト云フ
第二百七十六圖(a)乃至(i)ハ著色標本ニ於テ熱帶寄
生小體ノ發育狀態ヲ示ス
三日熱ノ寄生小體ハ日本固有ノ三日熱ノ原因タル

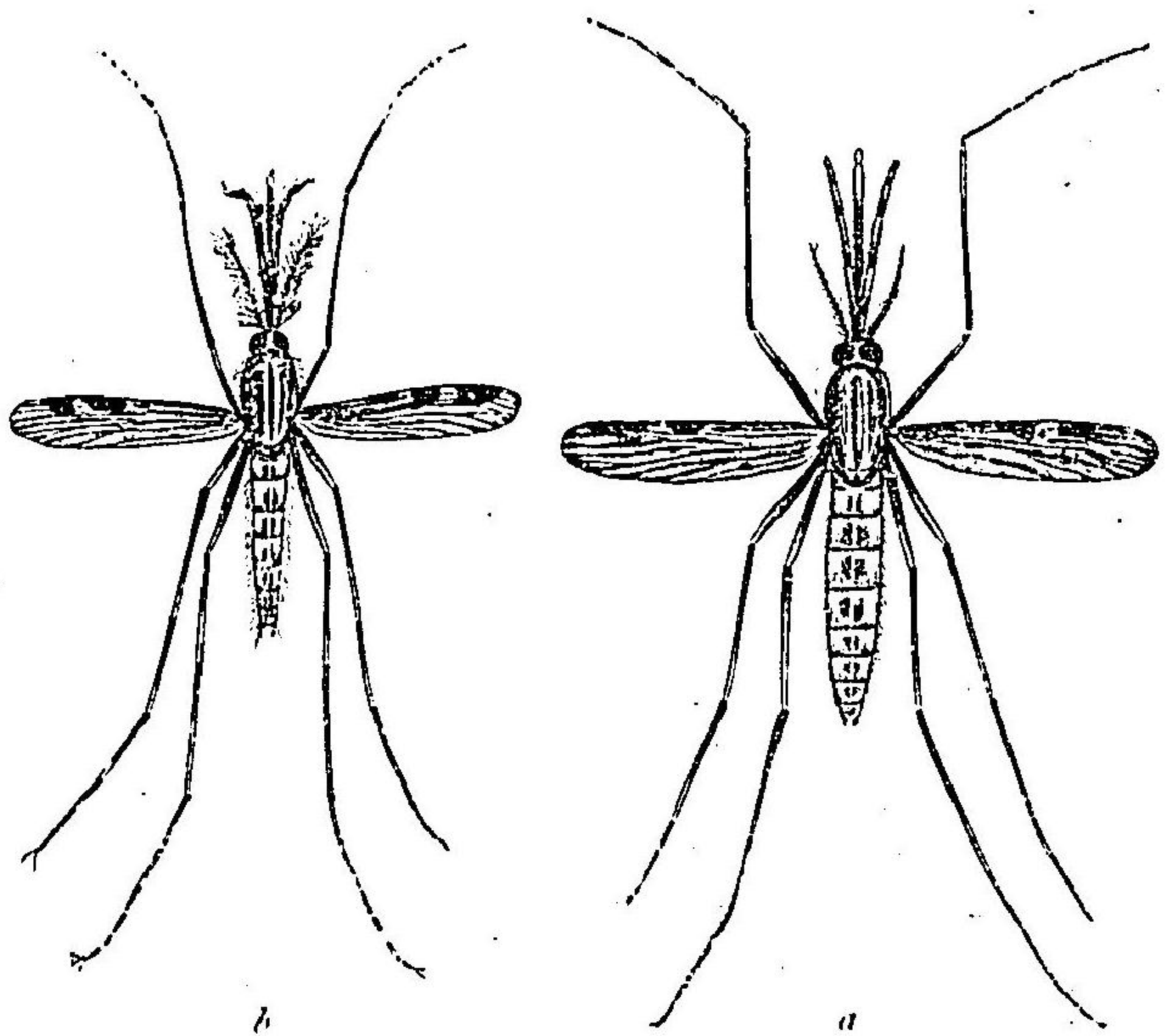
者ニノ日本ニ於ケル毎日熱ハ實際第三日毎ニ發作スル三日熱ノ二個相合併ス
ル者ニノ二様ノ成熟期ヲ有スル三日熱寄生小體ノ血液中ニ循環スルヨリ起ル
者ナリ

四日熱毎日熱弛張熱稽留熱及不正間歇熱ハ共ニ重症ノ所謂惡性麻拉利亞ニ見
ル所ニノ是等ノ熱型ハ只極テ不健康ノ地方ニ來ルノミベルツ氏ニ憑レバ此種
ノ麻拉利亞ハ日本ニ於テハ沖繩縣下ノ二三島嶼及臺灣ニモ亦之有ル者ノ如シ
ト云ヘリ

麻拉利亞ぶらすもぢうむノ人體内ニ侵入スルニハ如何ナル徑路ヲ取ルヤハ久シク人ノ
確知スル能ハザル所ナリシガ伊太利ノクラッシー、ピナミ等諸氏ノ研究及コッホ氏探檢ノ結
果トシテ蚊風殊ニあのみふれす(肉又蚊)(Anopheles)ノ刺螫ニ由テ其傳染ヲ媒介
シ人體ノ血液中ニ侵入スル者ナルヲ知ルニ至レリ而シテ此報告一タビ世ニ出テ、ロリ歐
米ノ學者之ガ研究ニ從事スル者少カラズ本邦ニ於テモ亦二三ノ報告續出シ麻拉利亞患
者ヨリ吸血セシあのみふれすノ體內ニハ麻拉利亞ぶらすもぢうむノ發育存在ヲ認メ今ヤ
其傳搬ノ事實ハ確認セラレタリ

抑モ蚊族ハ之ヲ區別シキリレクすあのみふれす、点イですめがリ一な及ぶそろふならノ五
屬ト爲シ此中主トノ人ヲ惱ス者ハキリレクす及あのみふれすノ二屬ニシテ通常吾人ノ所
謂蚊ハ多クハキリレクすニ屬シ其種類頗ル多クレモ麻拉利亞ぶらすもぢうむノ傳搬ヲ
媒介スル者ニ非ズ之ヲ媒介スル者ハ實ニあのみふれすナリ但しあのみふれす屬ニモ亦數種
有リテ既ニ世界中ニテ報告セラレタル者ハ三十種ナド云フモ本邦ニ於テハ其研
究少ク從テ其種類モ明ナラザレモ其今日マテ明瞭ナルハ北海道ニ一種、臺灣ニ七種、京都
附近ニ一種アルガ如シ今左ニ醫學博士宮島幹之助氏が京都附近ニ於テ發見セラレタル
あのみふれすノ一例ヲ舉ゲ以テ參考ニ資セントス(東京醫學會雜誌第十七卷第七號所載同
氏報告ニ據ル)

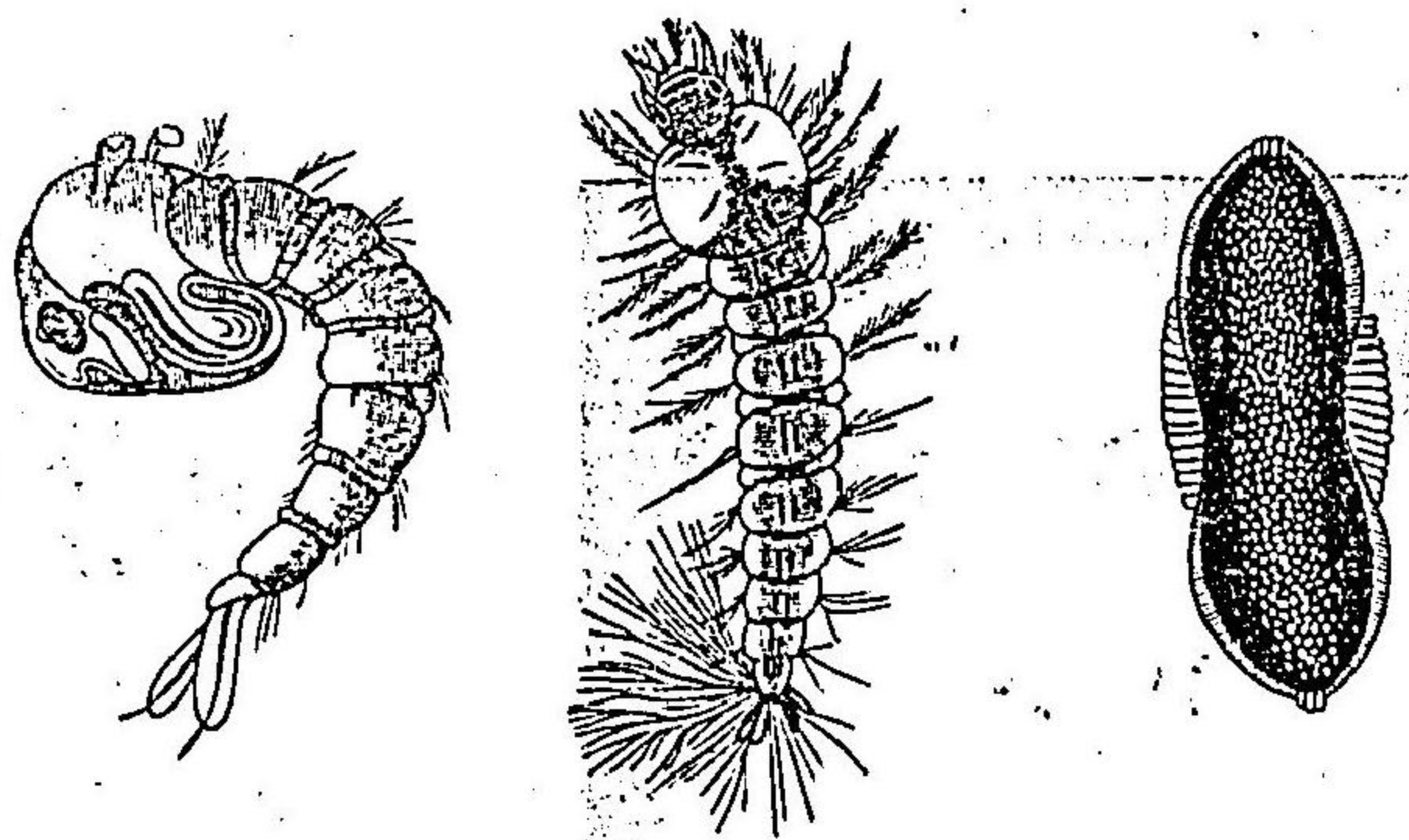
第 二 百 七 十 七 圖
あ の ふ れ す



モ體ト翅ト雄蟲ニ比スレバ大ナリ。受胎セル雌蟲ハ腹部膨滿シ水面ニ來リ浮草上ニ靜止シ水上ニ産卵ス。卵子(命ニ百七十八回)ハ紡錘狀ニシテ全體黒色ヲ呈シ側縁ニ無色透明ノ層有リ其水面ニ浮ブヤ各卵其尖端ヲ接シ花紋狀ニ並列ス而シテ此卵ハ産出後二三日ニシテ孵化

あ の ふ れ す ニ 特 徴 ト ス ル 所 ハ 雌 雄 共 ニ 其 觸 鬚 ト 口 吻 ト 同 長 ナ ル ニ 在 リ テ 是 レ 亦 殊 ニ き づ け ら れ ぐ す ト 異 ナ ル 點 ト ス 而 シ 雌 雄 ハ 觸 角 ノ 狀 ナ 異 ニ シ 雌 ニ 在 テ ハ 觸 角 比 較 的 短 ク 其 節 間 ヲ 生 ズ ル 毛 モ 短 ケ レ 雄 ニ 在 テ ハ 少 シ ク 長 ク 且 其 毛 モ 長 ク シ 恰 モ 羽 毛 狀 ナ 呈 ス 但 シ 吸 血 ス ル 者 ハ 雌 蟲 ニ シ 雄 蟲 ニ ハ 此 機 能 無 シ 而 シ 雌 雄 共 ニ 其 形 狀 略 同 ナ ル モ 雌 蟲 ハ 雄 蟲 ヲ

第 二 百 七 十 八 圖 第 二 百 七 十 九 圖 第 二 百 八 十 圖
あ の ふ れ す の 幼 蟲 幼 蟲 卵 子



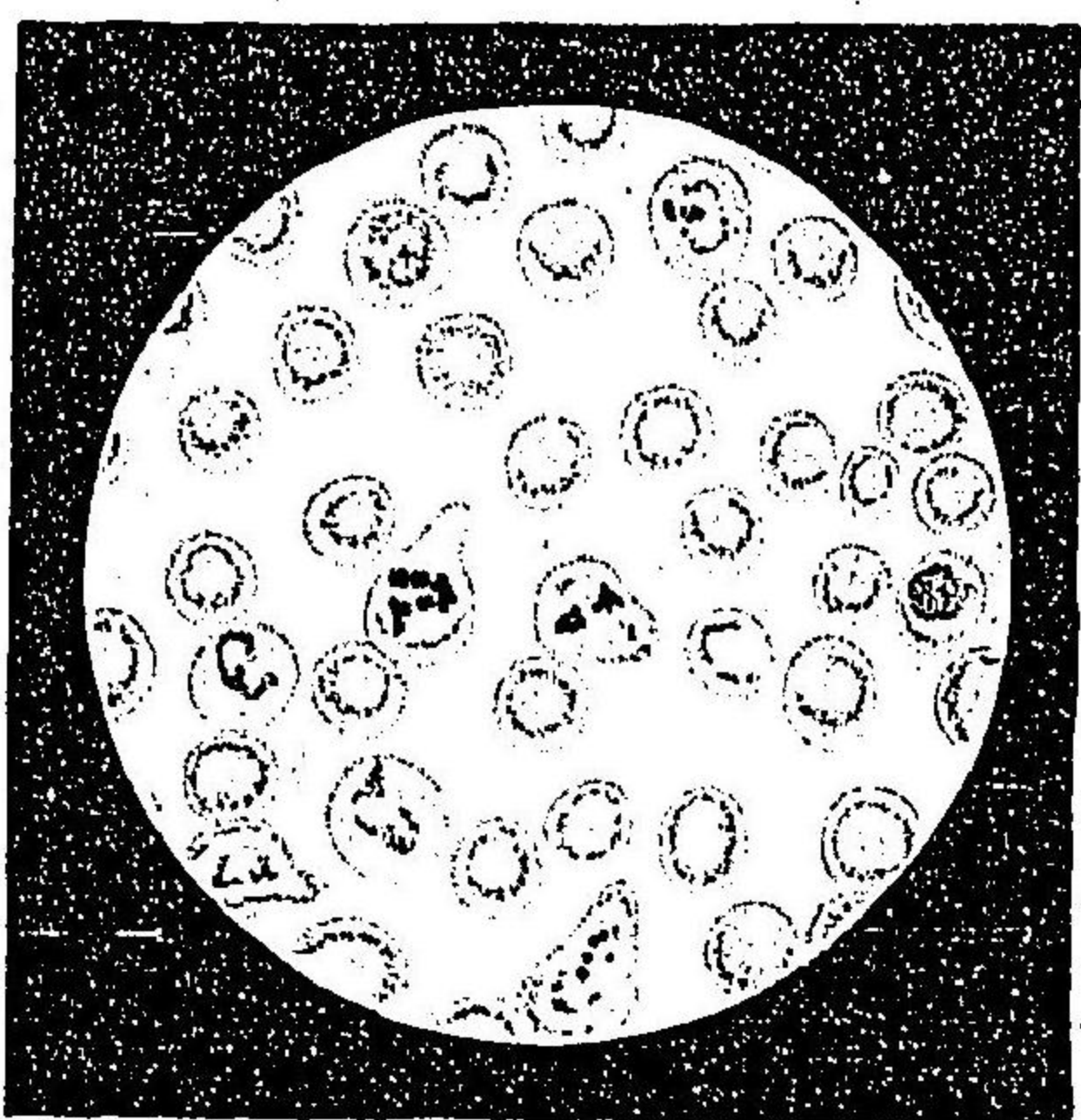
シテ幼蟲(即ちばら)命ニ百七十九回ト爲リ更ニ三回脱皮シ大約十三乃至十五日ニシテ蛹ニ化ス是レ即チかにはらふらニシテ胸部巨大ニシテ腹部ハ彎曲シ常ニ水面ニ浮遊スルモ水ノ動搖アレバ忽チ水中ニ沈降ス此蛹ハ又四五日ニシテ遂ニ羽化スル者ナリ而シテ羽化セルあ の ふ れ す ハ 他 蚊 ノ 如 ク 日 中 陰 所 (殊ニ浴室便所等ノ如キ陰濕ノ所)ニ靜止シ昏ヨリ人ヲ惱ス者ニシテ吸血スル者ハ上述ノ如ク只雌蟲ノミニシテ雄蟲ハ吸血スルコト無ク單ニ植物ノ液汁ヲ攝リテ生活スト云フ麻拉利亞ふらすしむのあ の ふ れ す 雌 蟲 ノ 吸 血 ニ 由 リ 人 體 ヲ 其 體 内 ニ 入 ル ヤ 其 腸 管 壁 ニ 達 シ テ 囊 狀 體 (を い ち す て) チ 形 成 シ 其 中 ニ 於 テ 核 ノ 分 裂 ニ 由 リ す ぼ ろ ぼ ろ 入 リ 吸 血

血液ニ麻拉
利亞寄生小
體ヲ檢査ス
ルニ先ニ
新鮮血液標
本ヲ作ル可
シ

血液ニ於ケル麻拉利亞寄生小體ノ檢査法 麻拉利亞ぶらすもぢうむヲ檢スルニハ先ニ新鮮血液標本ヲ作ル可シ少シク熟練スルハ球内ニ存スル色素顆粒ヲ有スル寄生小體ヲ檢出スルニ難カラズ其法上記ノ法ニ從ヒ指端若クハ耳垂ヲ嚴ニ清潔ニシタル後小針ヲ以テ之ヲ穿刺シテ血液ヲ出サシメ之ヲ覆蓋硝子ニ取り稍強ク之ヲ載物硝子上ニ壓著シ標本ノ周圍ニハばらふんヲ塗リ以テ其發散ヲ防グ可シ

然レモ精細ノ檢査ヲ行ハント欲セバ標本ヲ著色ス可シ最モ簡單ナルハヤクシメ氏ニ

圖 一 十 八 百 二 第
むうぢしすらぶ亞利拉麻
(法色染氏シレブ)

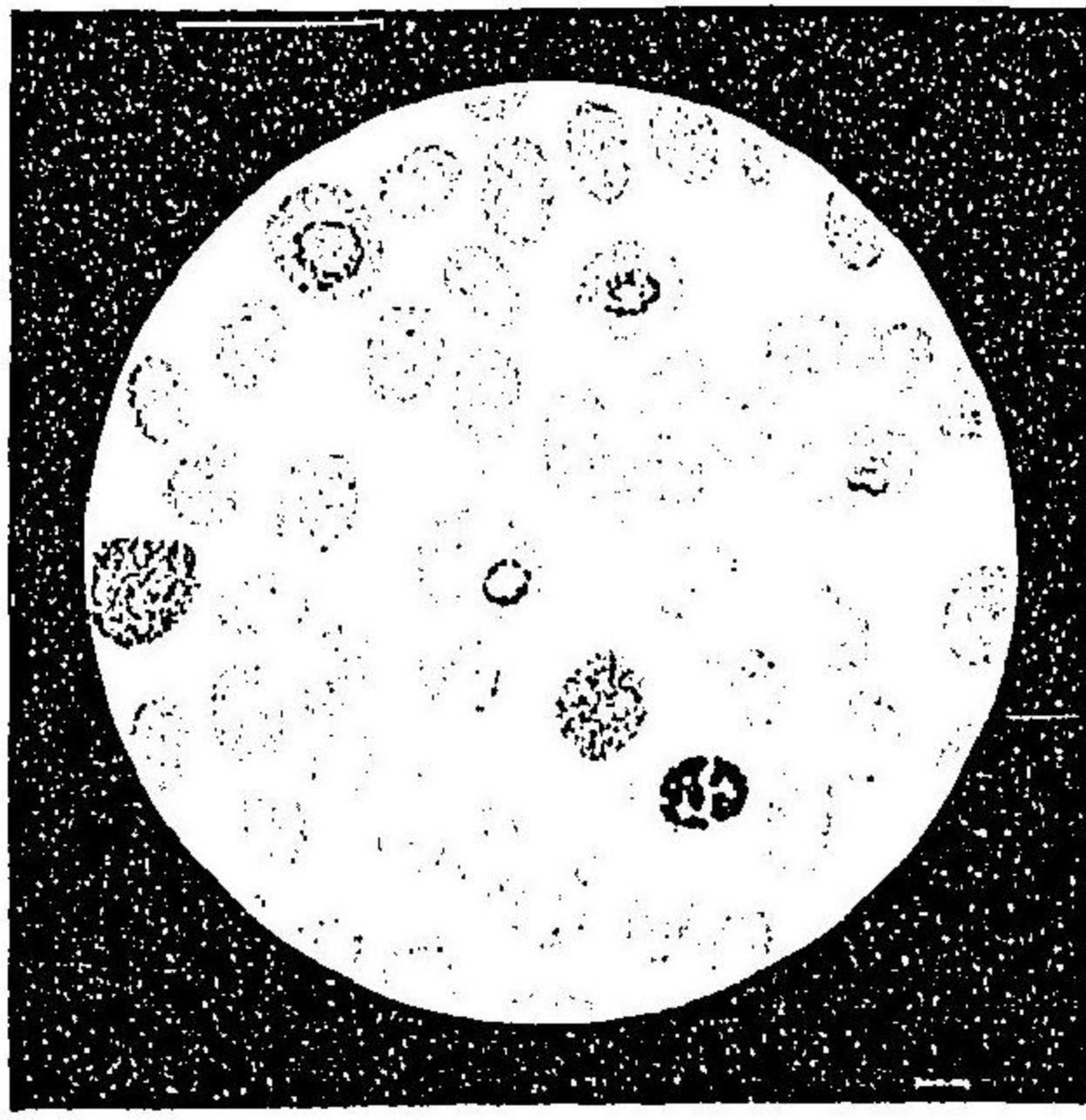


從ヒ〇六%食鹽溶液中ニ少許ノめちーれん青ヲ溶解シテ著シキ青色液ヲ作り之ヲ濾過シタル後殺菌シ之ヲ殺菌シタル硝子小管内ニ貯ヘ斯クテ麻拉利亞寄生小體ヲ檢スルニハ清淨ニシタル指頭ニ此めちーれん青溶液一滴ヲ附ケ滴中ヲ通ジテ小針ヲ以テ指頭ヲ穿刺ス

ルルハ血液ハ直ニ此溶液ト混和スルヲ以テ此混和液ヲ覆蓋硝子ニ取り可及的薄層ト爲シ載物硝子ニ載セテ鏡檢スルニ在リ(此際又液體ノ發散ヲ防ガン爲はらふんヲ以テ標本ヲ封鎖ス可シ)此標本ニ在テハ赤血球内或ハ又血液中ニ遊離シテ存スルぶらすもぢうむハ青色ヲ呈シ其中ニ色素顆粒ヲ認ム可シ此際寄生小體ヲ有セザル赤血球モ亦青色ヲ帶ブルヲ有レモ其著色平等ナルヲ以テ能クぶらすもぢうむト識別スルヲ得可シ

又乾燥標本ヲ製セント欲セバブレイン氏法ヲ以テス可シ其法先ツ覆蓋硝子面ニ

圖 二 十 八 百 二 第
むうぢしすらぶ亞利拉麻
(法色染氏ソソマ)



極テ菲薄ノ血液層ヲ著ケ之ヲ空氣中ニ乾燥セシメタル後大約十分時間純亞爾個保兒中ニ於テ固定シ再ビ之ヲ空氣中ニ乾燥セシメ次デ之ヲブレイン氏溶液濃厚水製めちーれん青溶液六十分七五%ノ亞爾個保兒ニ溶シタル〇五%系をじん溶液二十分及蒸餾水二〇%ノ

加里滿汁十二滴ヲ加ヘタル者四十分ヨリ成ル中ニ浸シ著色スルヲ數時間ノ後
 縮水ヲ以テ之ヲ洗淨シ乾燥後加奈佗拔爾撒膜ヲ以テ之ヲ固封スルニ在リ白血
 球ハ黯青色ボラすもぢうむハ淡青色赤血球ハ蓄微色ヲ呈ス(第百八十一圖)

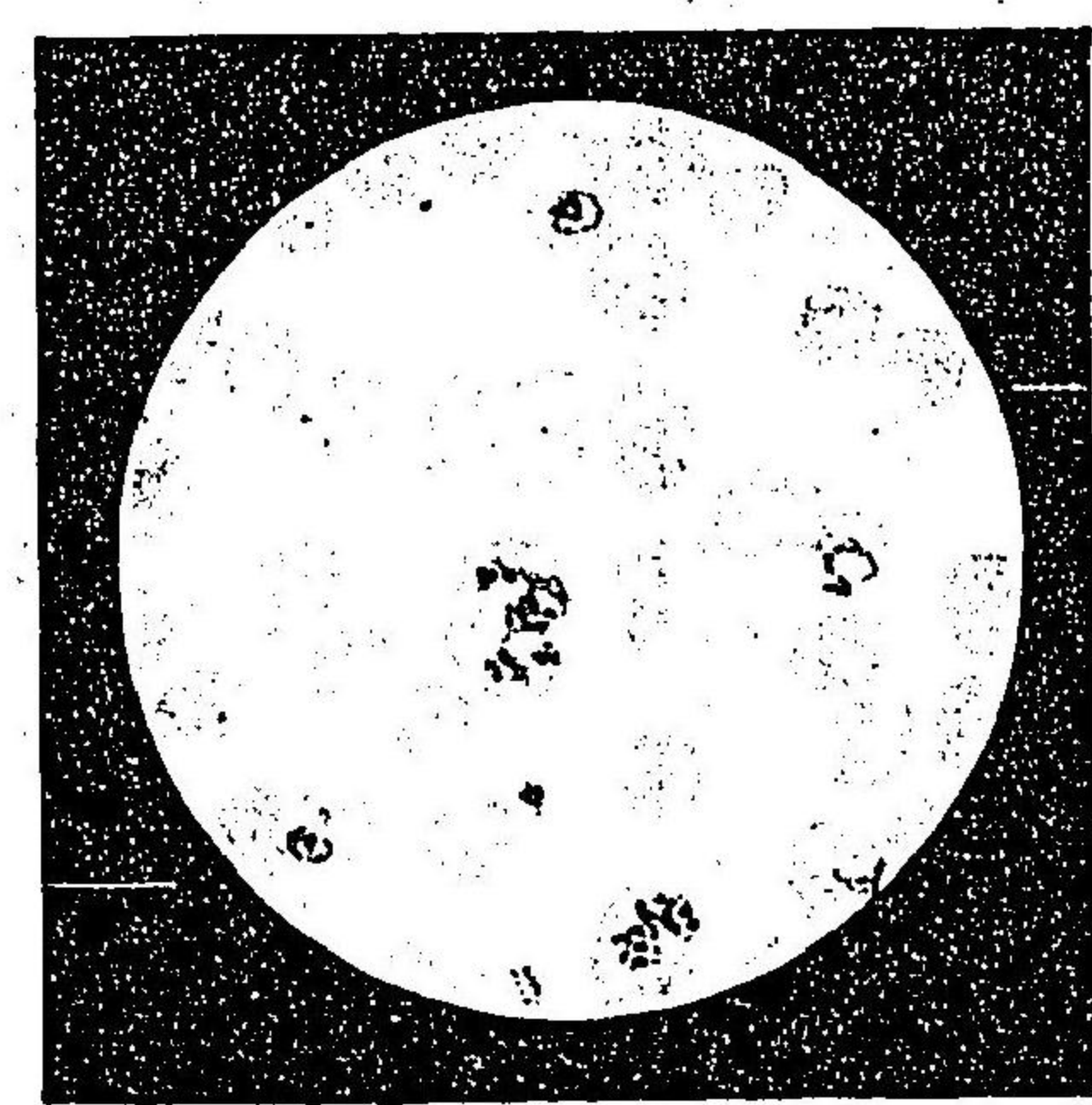
此他麻拉利亞ボラすもぢうむヲ染色スルニ左ノ諸法ヲ稱用ス
 マンソン氏法
 めちーれ
 硼砂
 沸騰水

此液ハ用ニ臨ミ水ヲ以テ稀釋シ(試験管内ニ於ケル液ノ透明トナルヲ度トス)室
 温ニ於テ十乃至十五秒間染色シ水ニテ之ヲ洗フボラすもぢうむハ青色ニ染色
 セラル(第百八十二圖)
 ギムザ氏改良法 ハ頗美麗ナル標本ヲ製作スルヲ得可シ之ニ左ノ二液ヲ用ユ

- 第一液 可溶性をじん
 一〇〇五
 縮水 一〇〇〇
 第二液 あすーるI
 一〇〇八
 縮水 一〇〇〇

右二液ハ共ニ褐色瓶ニ貯フ可シ今之ヲ以テ染色スルニハ先第一液十立方仙迷
 ヲ試験管ニ取り之ニ第二液一立方仙迷ヲ加ヘ十分之ヲ振盪シタル後標本ヲ染
 色スルヲ十五分乃至三十分ニ水ニテ之ヲ洗ヒ乾燥セシメ鹽酸性加奈佗拔爾
 撒膜ニテ固封ス

第百八十三圖
 麻拉利亞ボラすもぢうむ
 (マロノキス氏染色法)

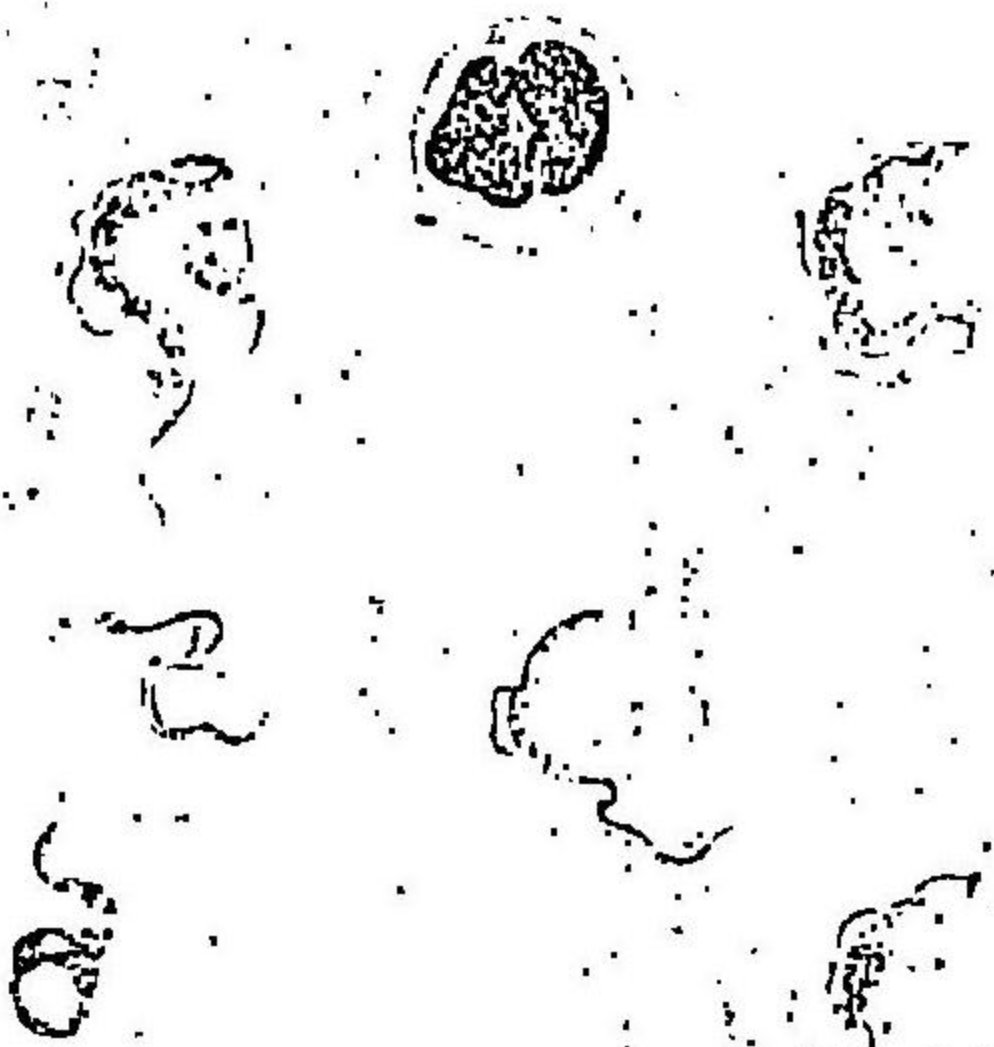


本ヲ此混和液上ニ浮バシメ三十分乃至三時間靜置ノ後水ニテ洗ヒ乾燥後拔爾
 撒膜ニテ固封ス此標本ニ於テハボラすもぢうむノくろまちなハ光輝アル赤色
 ヲ呈シ原形質ハ青色ヲ呈ス(第百八十三圖)

上記ノ標本中ニハ麻拉利亞寄生小體ト同時ニ程度ノ白血球增多症及比較的多數ノ急をじん嗜好細胞其他寄生小體ヲ圍擁スル所ノ白血球ヲ見ル可シ又殊ニ注意ス可キ者ヲ赤血球ノ變化トハ即赤血球ハ種々不正ノ形狀ヲ呈シ或ハ其中ニ「空胞」(Vacuola)ヲ存スル者ニ該空隙ハ時トノ寄生小體ト誤認セラル、右レ其境界ハ判明ニノ固ヨリ顆粒ヲ存セズ且めちれん青ニ由テ著色セズ又迄モあめーば様運動ヲ呈セザルヲ以テ之ト識別スルヲ得可シ但、斯ヲ如キ赤血球ノ變化ハ恐ク異形血球症ト同一ノ者ニテ該變形ハ管ニ麻拉利亞血液中心ニ於ケルノミナラス亦麻疹空扶斯其他貧血症癰腫壞血症白血病等ニ於テ嗜ル所

第二四八十四圖

人體ノ血液中心ニ於ケルものとゾーレンの

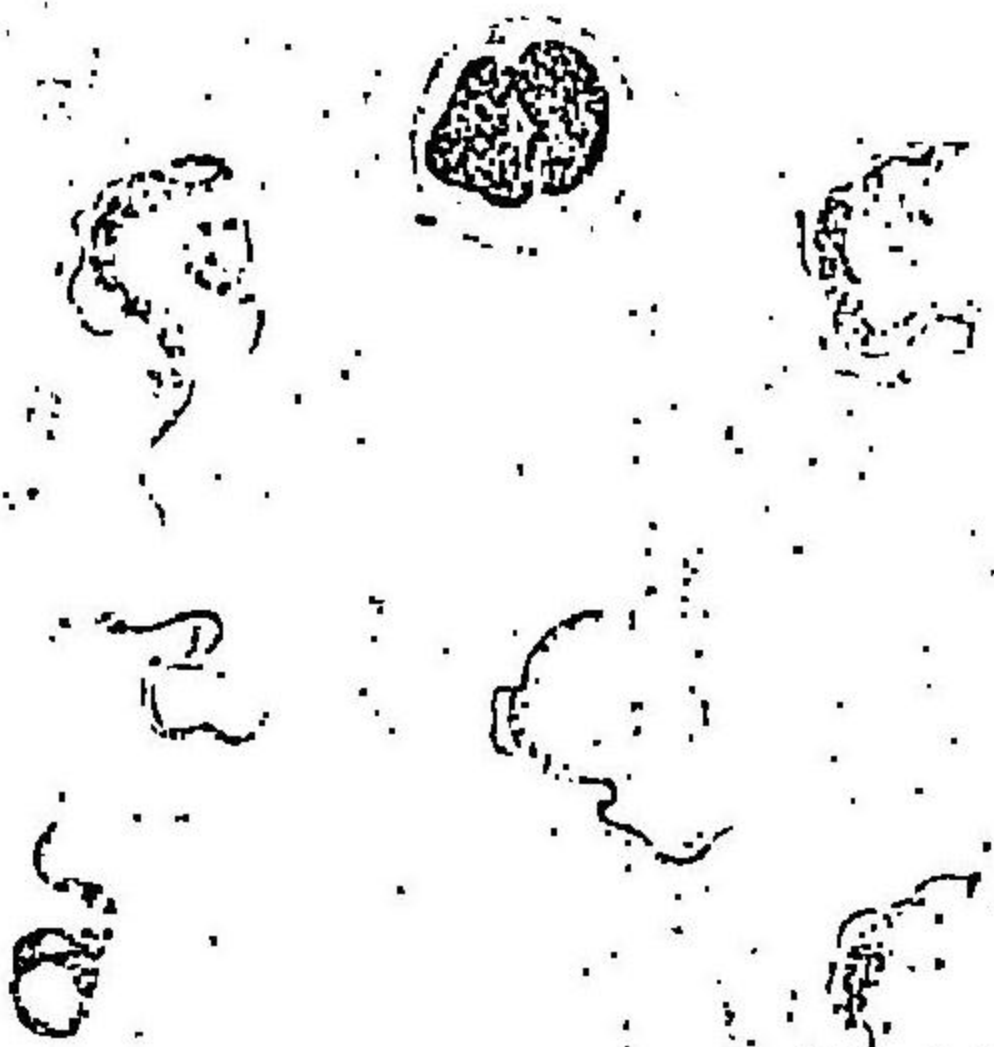


方ニ在ルハ大ニ方ニ於ケル一定ノ疾病ノ原因タルヲ知ルニ至レリ是れ最小蟲狀ノ生體ニ長ク二五乃至三五密倫無色透明一端ニ長キ鞭

とりめんの

第二四八十四圖

人體ノ血液中心ニ於ケルものとゾーレンの

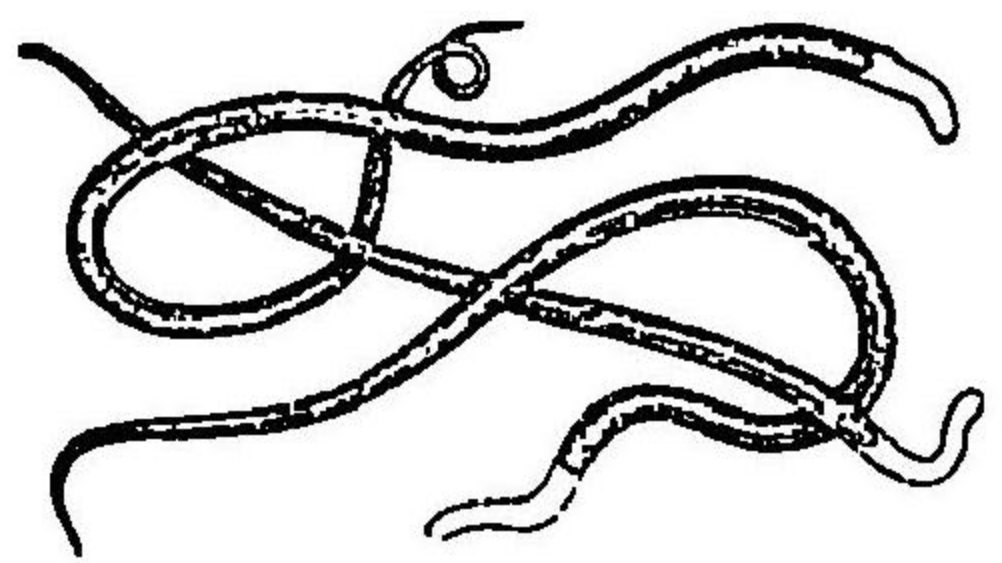


方ニ在ルハ大ニ方ニ於ケル一定ノ疾病ノ原因タルヲ知ルニ至レリ是れ最小蟲狀ノ生體ニ長ク二五乃至三五密倫無色透明一端ニ長キ鞭

人血絲狀

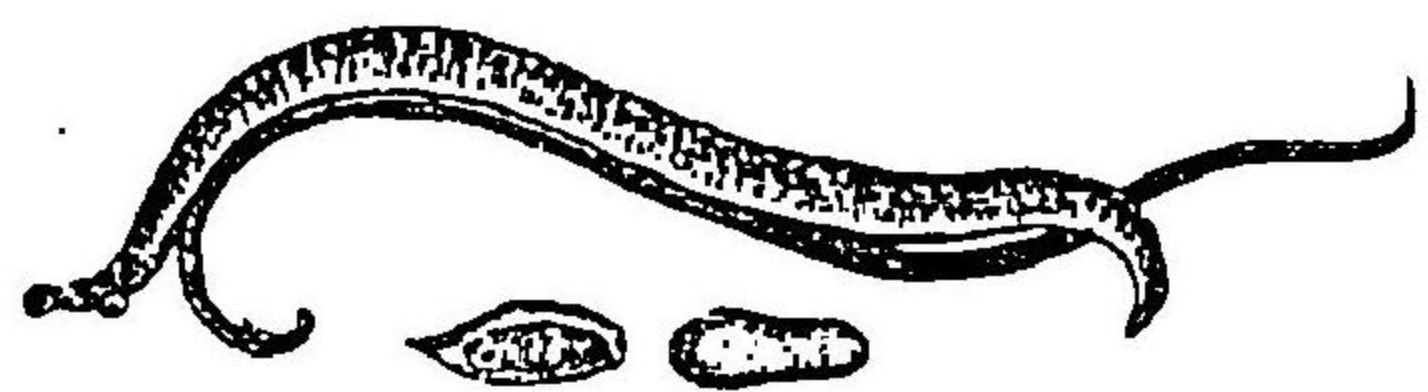
第二四八十五圖

人血絲狀 (トシユシクヤ)



第二四八十六圖

住血吸蟲及其卵 (トシユシクヤ)



毛ヲ具ヘ他端ハ鈍圓ヲ呈シ之ヲ鏡下ニ檢スルニ運動頗活潑ニ其路ニ當ル赤血球ヲ排除スルヲ見ル而シテ其原形質中ニ徐々顆粒ヲ存シ核ハ其中央ニ存シ又後端ノ附近ニ通常最小ナル暗黒ノ斑ヲ呈シ茲ニ亦空胞ヲ見ル此寄生體ハ西南亞弗利加ニ於ケル牛馬ノ所謂なかな病(Viscaria)ノ原因タル者ニノちち(Trichinella)ニ由テ傳播セラレ同地方ニ於ケル所謂睡眠病(Schlafkrankheit)ハ實ニ亦此寄生體ニ由テ發スル者ニシテ該患者ノ血液中ニ之ヲ説明スルヲ得可シ此他血液中ニ來ル所ノ動物性寄生體ニシテニ尙記載ヲ要ス可キ者ヲ人血絲狀蟲及住血吸蟲ノ二種トス

人血絲狀蟲 (Filaria sanguis)

血液ノ顯微鏡的検査

住血吸蟲

zuis hominis (第百八十五圖) ハふらりあばんくろふちノ胎蟲ニ其成育セル者ハ人體淋巴管内ニ住シ胎蟲ハ屢多數血液中ニ生活シ日本及支那ノ一部ニ於テ乳糜尿及血尿ノ原因ヲ爲ス者ナリ殊ニ奇ナルハ該蟲ハ夜間血液中ヲ循環スルヲ以テ之ヲ検査スルニハ夜中患者ノ血液ヲ採ル可シ

住血吸蟲 *Distomonum hannahum* (第百八十六圖) ハ膀胱近部ノ靜脈管内ニ生存スル者ニシテ熱帶地方ニ來リ日本ニハ未ダ之ヲ發見セル者有ルヲ聞カズ而ノ其卵子ハ血尿中ニ見ルヲ得可シ(其ニ後編尿検査法ノ條下參照)

血液ノ化學的検査

血液ノ化學的検査ニ於テ乾燥殘物ノ檢定窒素ノ定量ノ如キ諸法有レテ之ヲ診斷上ニ應用スルヲ殆ド之レ無シトス

少量ノ血液ノ存在ヲ檢知スルニ所謂ヘミン試験ヲ施スノ法ハ次編消化器系診法ノ條下ニ詳述シ可シ

痛風ニ於テハ血液中ニ多量ノ尿酸ヲ含有スルヲ發見セリ又血液中ニ膽色素ヲ含有シ血清中ニ血色素ヲ含有スルヲ有レテ之ヲ檢定スルニハ稍多量ノ血液ヲ要ス

體外ニ出デタル血液ノ凝固スル速度ハ疾病ニ由リ異ナル者ニノ健全ノ者ニ在

心臟病及血液諸病ノ重要ナル症候

テハ其凝固スルニ大約九分時ヲ要スレモ慢性ノ榮養障礙有ル者ニ在テハ之ヨリ速ナル者トス(ハ・フ・キールオルト氏)

心臟及血液諸病ニ於ケル主要ノ症候ニ就テハ後編附録ニ應用診斷法ノ條下ヲ參觀ス可シ

關西大賣捌所

大阪市南區心齋橋筋二丁目

大阪市南區心齋橋筋博勞町

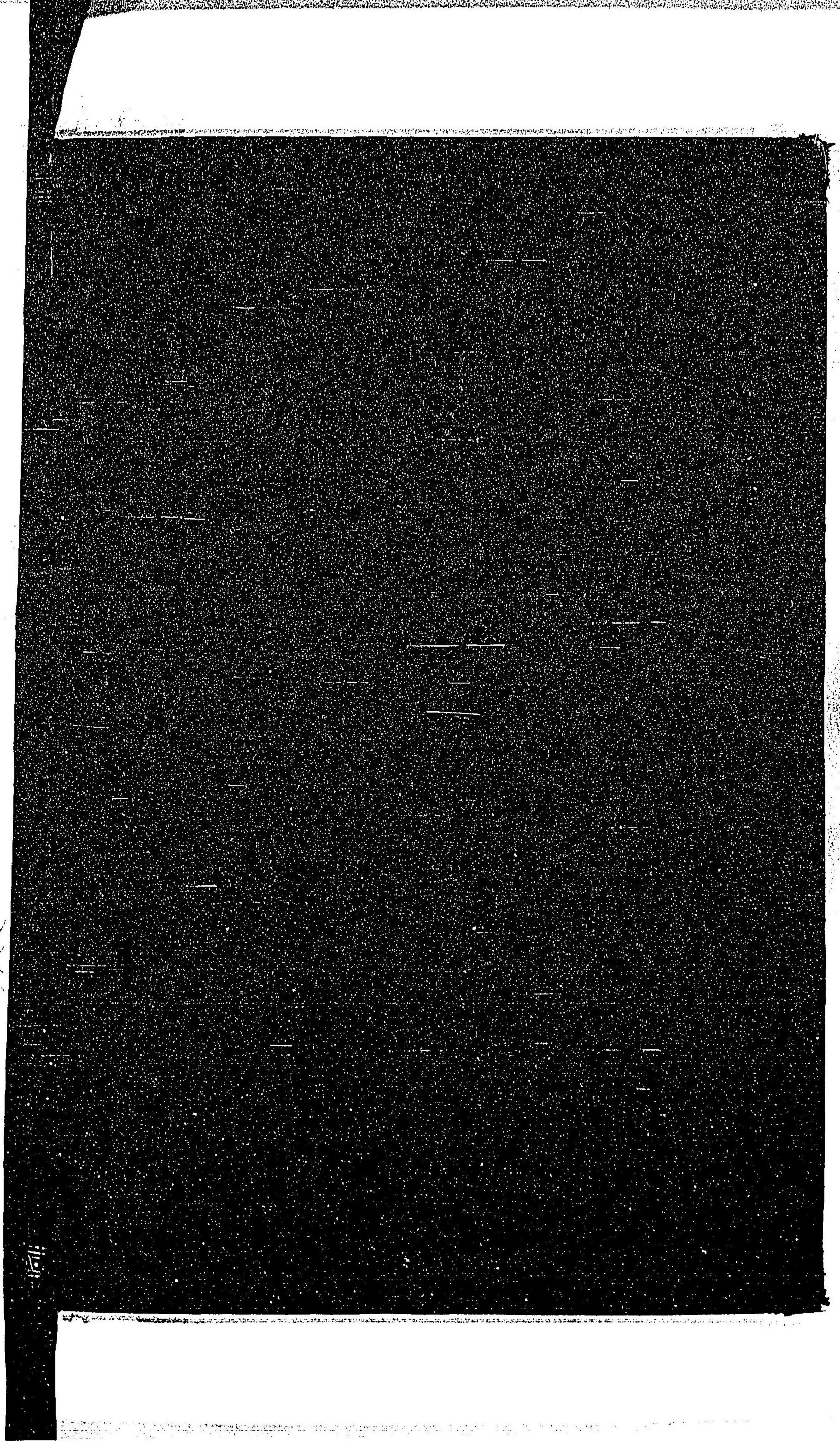
松村九兵衛

丸善株式會社支社

弘通書林

東京市日本橋區通三丁目	丸善株式會社書店	名古屋市西區本町	丸善書店
同 本郷區湯島切通坂町	南江堂書店	熊本市新二丁目	長崎次郎
同 同 區春木町三丁目	半田屋書店	長崎市引地町	安中集榮堂
同 同 區湯島切通坂町	會社 金原商店	岡山市上之町	渡邊宗治郎
同 神田區鍛冶町	朝香屋書店	京都市寺町通二條下	若林茂一郎
同 本郷區春木町三丁目	南江堂支店	金澤市片町	宇都宮書店
同 同 區春木町三丁目	積運堂書店	京都市三條通鉄屋町	丸善株式會社支社
同 同 區龍岡町	朝陽堂書店	大阪市中之島玉江町	角屋書店
同 同 區本富士町	明文館書店	京都市河原町	大黒屋書舖
同 同 同	文光堂書店	仙臺市新傳馬町	金英堂書店
同 同 同	豐文堂書店	同 大町五丁目	沾哉堂書店
同 同 區龍岡町	南山堂書店		
同 同 區湯島切通坂町	宮澤書店		







058677-001-8

52-1ソ

診断学 (増訂第15版)

下平 用彩 / 著

前

M41, 42

CBC-0204

